

科目名	保健体育	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成 28 年度（前期）	対象学科・専攻・学年	2 年建築学科
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位
担当教員	長田 朋樹（2A）	居室（もしくは所属）	講義棟 1 階 長田教員室
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン名
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. ソフトボールのルールやマナーを基にベースボール型スポーツを実践することができる。	⑥		
2. バレーボールの個人的技能（スパイク動作）を段階的に身につけることができる。	⑥		
3. バレーボールのルールを活用し、チーム全員でボールをつなげる“ラリーや攻撃の楽しさ”を味わうために工夫をすることができる。	⑥		
4. 泳力に合った課題をクリアすることができる	⑥		
5. スポーツおよび保健の知識について理解・説明することができる	⑥		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1.3. 授業時間中に記録するゲーム記録表または個人ワークシートの内容から総合的に評価する。 2.4. 練習およびゲーム・記録測定時のプレー内容・スキルチェックから総合的に判断し評価する。 5. 授業内のチェックテストまたはレポート課題から総合的に評価する。			
評価方法			
1. 実技点（スキルチェック、ゲーム時のプレー内容、ゲーム記録票またはワークシートの内容）：40% 2. 講義による小テスト、レポートおよび課題など：10% 3. 授業態度（遅刻、忘れ物、服装、授業への参加度など）：50%			
授業内容			
1.	オリエンテーション、講義（メタボリックシンドロームと健康）		
2.	ソフトボール（キャッチボールの仕方）		
3.	ソフトボール（打撃の仕方、ルールの確認、ミニゲーム）		
4.	ソフトボール（打撃練習、守備練習、ミニゲーム）		
5.	ソフトボール（打撃練習、守備練習、リーグ戦）		
6.	ソフトボール（リーグ戦）		
7.	新体カテスト		
8.	ソフトボール（リーグ戦）		
9.	バレーボール（パス・サーブ・レシーブの基本的な方法）		
10.	バレーボール（スパイクの練習、ゲーム）		
11.	バレーボール（スパイクの練習、ゲーム）		
12.	バレーボール（スパイクの練習・リーグ戦、審判法）		
13.	バレーボール（スパイクの練習・リーグ戦、審判法）、水泳		
14.	バレーボール（スパイクの練習・リーグ戦、審判法）、水泳		
15.	バレーボール（スキルテスト）、水泳		
16.			
キーワード	バレーボール、スパイク、水泳、体力向上、コミュニケーションスキル向上、保健		
教科書	特になし（※保健授業においては教材を教員が用意する）		
参考書	特になし（※保健授業においては教材を教員が用意する）		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目	保健体育		
連絡事項			
○保健体育は出席することが前提条件である（オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については追加課題を与えるか、評価の対象としない場合がある）			
1. 第 1 回目の授業は講義を行う。			
2. 実技では、学校指定のジャージ、T シャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。			
3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。			
4. 週番は、授業前までに連絡事項を教員室まで聞きに来ること。また、クラスへの伝達、出席簿を持参すること。			
5. 前期は、水泳を実施するので、各自水着、水泳キャップおよびゴーグルを用意しておくこと。（3 年間使用）			
6. プールに一度も入らない者には単位を与えない。			
7. 天候や進度状況により授業内容を入れ替えるなど一部変更することがある。			
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 23 日作成		